

## かふえらてのプログラム体験のふりかえり

音楽ライブ講座と食育に参加しました。

今回、活動に参加させていただく中でこの支援センターでは、利用者の方の主体性を大切にされているという事がわかりました。

例えば音楽ライブ講座の中では、選曲は利用者の方にしてもらっていたり、講座から食育までの間の交流の時間では、利用者の方が司会をして交流会を進行してくださいました。

利用者の方との交流の時に、入院していたときのことを話してくださった方がいましたが、入院中、医療従事者の態度から「できないと、決めつけられた」と感じたことや、様々な規制を感じたことがあったと教えてくださいました。

その発言や、管理者の方とお話しさせていただく中で、実際の医療の現場では、対象の持てる力を決めつけ、規制にばかり働きかけてしまう場面も少なくないという事がわかりました。

音楽やその他様々な関わり（医療者の日々の対象を観察する視点、カラーリング・ハンドメイド等の作業療法）の中でも表面的な事象（みんなで歌を歌っている、色を塗っている）にばかり目を向けるのではなく、そこに対象の主体性が反映されているか、ということ大切にしなければならぬと考えました。

そうすることで対象の持っている力を引き出し、回復過程をたどるための働きかけができるのではないかと考えました。

今回、支援センターかふえらてで学ばせていただいたことを忘れず、対象により看護が提供できる看護師を目指します。  
ありがとうございました。

## かふえらてのプログラム体験のふりかえり

本日、音楽ライブ講座と食育活動に参加させていただきました。

歌ったりカスタネットをたたいてリズムに乗ったりすることで、気持ちがすっきりしました。

音楽には嫌なことを忘れさせたり、気分を上昇させる力があるのだと感じました。

食育は、ご飯にお味噌汁、とり天&サラダ、おひたしと栄養バランスばっちりでした。

一人ではなく皆さんと食べることで美味しさをより感じられました。

かふえらてに参加されていたみなさんとお話をする中で、温泉巡り、一人カラオケ、英語のグループレッスン、音楽を聴きながらの晩酌などの素敵な趣味を持ちつつ生活されていることが分かりました。

腸を刺激するために白菜バナナジュースを飲んだり、朝に散歩をしたりと、健康を維持・向上させるための工夫も教えていただき勉強になりました。

また、ナースにどうあってほしいか、質問した際、「共感しあえる人」「精神病扱いされて、できないでしようと言われることが辛かった」「病気を説明してくれれば分かる」「気の強い人は苦手」など様々な思いを教えてくださいました。

病棟で働く際は、今日みなさんに教えていただいたことを忘れず、少しでも支えとなるナースになれるように、頑張ります。

20日・27日と、本当にお世話になりました。

ありがとうございました。